

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1690100118
法人名	医療法人社団 萩野医院
事業所名	グループホームおわら
所在地	富山市八尾町西町2386
自己評価作成日	平成28年1月19日
評価結果市町村受理日	平成28年3月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

八尾の旧町で唯一の認知症対応型共同生活として、認知症の啓発に努めています。また、入居者の重度化には、萩野医院と医療連携し、看取り介護まで行っています。その方らしさを大切に、苦痛の緩和にもチームで支えています。また近隣の住民から保育所、中高生といった幅広い世代の方々と交流を深め、曳山祭り、風の盆や坂の町アートでは地域に溶け込み楽しく暮らして頂いております。

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

基本情報リンク先URL

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	北証パトナ株式会社
所在地	富山市荒町2番21号
訪問調査日	平成28年2月10日

格子戸を施し、情緒ある八尾の風情に配慮したグループホームである。萩野医院を母体として医療と介護の密接な連携が図られていることから、利用者が安心して暮らせる環境にあり、重度化や看取りについてもしっかりとした対応が図られている。利用者職員及び職員間には良好な関係にあり、祭事や町内行事にも参加するなど地域交流に努めている。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	年度初めに、法人と理念を学ぶ勉強会を行い、理念の重要性を認識しています。職員は理念を軸に日々職務に取り組んでいます。毎月のカンファレンスの後には理念を唱和しています。	法人内の共有理念に基づき、研修会での確認や毎朝の申し送り時に唱和している。なお、昨年度において、事業所独自の理念を作ることが計画されていたが実現に至っていない。	現状の理念とケアへの反映について、カンファレンス等で職員間で良く話し合い、そのうえで、独自理念又は実践指針等の作成に進まれることが期待される。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	回覧を回してもらい、行事への参加交流をしています。「曳山祭り」「風の盆」の準備には地域の人々と歩調を合わせ参加、また納涼祭に参加したり、保育園児や小中高生の訪問もあり、地域交流を大切にしています。	地域の祭事や共同作業に参加しているほか、近くの保育園児や小中高生並びにボランティアの人達が来訪し、歌や踊りなどを披露してくれている。	夏に実施されている「流しそうめん」などの事業所行事には近隣の人達にも声掛けをして、更なる地域との交流を深められることが期待される。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中・高生の社会勉強、特に14才の挑戦では1週間の実習で入居者と触れ合う、学ぶ機会を提供し認知症の病状や介護について学び、入居者と生徒が触れ合える工夫をしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	第三者評価、家族交流会、研修会、消防訓練、季節毎の行事などの報告を行い意見を頂いています。	町内会長をはじめ地域の有識者、市及び地域包括支援センター職員、利用者の家族代表がメンバーとなり2ヶ月に一度開催している。会議では事業所の近況や外部評価について報告をし、意見をもらっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談員に事業所の実情やケアサービスの取り組み実態を伝えながら協力関係を築くように進めております。又、運営推進会議でも地域福祉課職員に参加してもらい、意見を聞いています。	富山市の長寿福祉課を窓口運営等に関するいろいろな相談をしてアドバイスを受けている。また、市の主催する研修会にも積極的に参加し連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>毎年、身体拘束の勉強会を行い職員は内容を正しく理解しています。常に入居者の心身の状態、行動を把握し、安全で安心な暮らしができるようチームで話し合い、介護に取り組んでいます。</p>	<p>身体拘束に関する勉強会を、計画的に毎年実施している。本年度には、市の職員を講師に招き身体拘束の現状・動向について学ぶなど、全職員が身体拘束の内容と弊害を認識してケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>市の長寿福祉課の専門員による集合研修会に参加し、事業所内での虐待が無いよう、カンファレンス時での資料説明を行い防止に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している</p>	<p>以前に権利擁護に関する制度の説明を受けています。現在その制度を利用されている入居者はいませんが必要とする方がおられた時は支援をしてゆきます。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時は家族に契約内容を十分に説明をしており、納得のうえ契約を締結しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者のケアの様子や行動予定を毎月の通信で家族に報告し、家族アンケートや家族交流会などで意見や要望を把握しています。寄せられた意見や提案は職員で話し合い運営に活かしています。</p>	<p>利用者からは日々の会話の中で、家族からはアンケートや家族交流会などで意見・要望を聞いている。出されたものは申し送りノートに記載すると共に、ミーティングやカンファレンスで話し合い、運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者は管理者より職員の意見や提案を、聴く機会を設けています。管理者は日々職員より介護や業務に関する意見を聞くと共に、月1回のカンファレンスでも意見を聞き反映をしています。	職員からの意見・提案については日常的に聞いている。また、その内容については職員用の申し送りノートに記載することとしており、有用なものはカンファレンスなどでも話し合い運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は職員の能力、努力や実績、業務状況を把握し代表者に報告しています。それらが給与や賞与に反映され、やりがいや向上心を持って働けるよう努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員の能力を把握し、その職員に合った研修が受けられるよう配慮しています。法人は職員の介護の質や能力が高まるように年間の研修計画を立て毎月研修を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	代表者は管理者より職員の意見や提案を、聴く機会を設けています。管理者は日々職員より介護や業務に関する意見を聴き反映をしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人と面談したり、以前の介護専門員よりの情報を基に十分な観察と寄り添う介護を心掛けています。要望や不安の把握に努め安心できる生活へと支援してゆきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時家族と面談し、不安や要望を確認しています。面会時に近況を話し、これまでの暮らしの情報なども聴きながら、家族との関係を深めていきます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前、本人や家族とお会いし、話をよく聴き、介護支援専門員よりの情報も得て、必要とするサービス内容を見極め生活を支えています。その後も利用者を見守り観察し、常にニーズの発掘に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人ができる事、したい事を知り、発揮できる場にさりげなく誘導し、洗濯物たたみ、茶碗拭きなどをしてもらっています。職員と利用者が互いにお礼の言葉を掛け合い、共に過ごす者として関係を深めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人を支えるためには、第一に家族の力が必要とお話ししています。電話で連絡を取ったり、面会時には介護の現状を話し、職員と家族が一緒になって介護方法を考えられています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている	家族や知人、友人等との面会を自由にしてもらっています。電話で連絡をとっている方もおられます。買い物や自宅へ外出する方もおられ、これまでの暮らしの継続ができています。	入居時や利用者との日常の会話の中から聞き出した馴染みの関係はフェースシートに記載して管理している。友人の訪問が時々あるほか馴染みの店での買い物や年賀状を出す支援などを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席は性格や相性を把握し、利用者同士が良好な関係が築けるよう配慮しています。その日に合わせ座席を変えることもあります。それにより会話が弾んだり互いに思いやる様子がみられています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者が退去する際、いつでも相談に応じる事を伝えています。そのため入居者日誌は保管しています。死亡により退去となった場合も、職員は通夜や葬儀に参列し、家族支援に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話や行動の中から思いや行動を理解しています。困難な方に対しても表情や行動と、以前の情報も踏まえ、職員一人ひとりが考え、意見を出し合い「その人らしい暮らし」のための検討を重ねています。	利用者の日々の会話や表情などをもとに、カンファレンス時などに、言葉や表情の奥にある思いや意向を、色々な角度から考え、本人本位に検討するように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしが入居後もできるように本人や家族、以前の介護支援専門員より情報を得て、サービス提供に繋げています。職員はその情報の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の状態把握は、申し送りを聞き入居者日誌や、申し送りノート等を読み、その後、実際に介護をし記録を残すことから理解、把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護をする中で課題が判明し、本人や家族、職員と話し合い、気づきやアイデアを集約し、介護計画作成へと繋げています。毎月のカンファレンス時にも意見交換を行います。介護計画は家族に説明した後、職員全員にも確認してもらい、介護を実践しています。	一人ひとりの利用者の日頃の様子を記録に残し、モニタリングをしながら、現状に即したケア方法についてカンファレンスなどで話し合っている。また、家族から面会時などに聞いた要望も取り入れた介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護の実践の結果、気づきやアイデアは、毎日の入居者日誌に記録し話し合っています。申し送りノートも活用し、職員の情報共有を図っています。介護計画は期間を設定し見直しをしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	母体施設の萩野医院から、理学療法士が訪問し、移動能力向上のためのリハビリが受けられます。職員は介護方法の指導が受けられ利用者の移動能力向上、維持に努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の方で、毎週ボランティア活動で訪問して下さり新聞朗読、紙芝居や貼り絵等をして約2時間の時間を費やして下さり、とても入居者に楽しんで頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時、かかりつけ医の確認をしますが往診や健康管理について、ほぼ全員の方が萩野医院を希望されます。管理者と萩野医院との連携は円滑です。また専門的な治療が必要な場合は協力病院を受診できるよう萩野医院より紹介します。	医療法人として医療と介護の密接な連携を図り、萩野医院の往診体制をとっている。また、皮膚科や歯科医には、家族の都合を考慮して、職員が付き添って受診するなど、医療面の安心につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は毎日のバイタル測定や食事、排泄などの情報や気付いたことを看護師に報告しています。萩野医院と連携して適切な治療や看護が受けられる体制を取っています。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は地域医療連携室と連携を取り、入居者や家族が安心して治療できるように努めています。また退院に向けた相談を密接に行い、早期に退院できるように支援していきます。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化し、終末期に入ったと判断された時は医師から病状説明をご家族に行います。その上で医療・介護方針について家族と話し合います。結果は職員で共有します。また、入居時や体調変化時なども本人や家族と話し合い、本人らしい暮らしができるよう努めます。	利用者の状態や看取り支援時のケア方法などを、医師から家族等に説明し、希望があれば、医療法人として、医療と介護・看護の連携を図りながら、住み慣れた事業所での看取り支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所にAEDが設置されており、毎年取扱い講習を行っています。全職員が学び実践力が身につくようにつとめています。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員全員が年2回の防火訓練に参加しています。避難訓練などの担当をローテーションして、全員が対応できるようにしています。訓練は運営推進会議でも報告すると共に、近隣の方にも協力頂いております。	消防署立ち合いのもと、火災を想定しての避難訓練を年2回実施し、消防署から助言を得ている。また、近隣の人達にも避難訓練に参加してもらうようお願いしている。	近隣の人達にも避難訓練に参加してもらうようお願いしているが、参加人数が減少している。今後はより具体的な役割分担などの体制をつくることが期待される。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人生を尊重し、その人の誇り、プライバシーの配慮に心を配り、訴えの多い人に対するケア、帰宅願望の訴えに対するケアなど本人を思いやり、その人らしく暮らせるよう、言葉をかけ対応していきます。	家庭的な雰囲気の中、一人ひとりに合った穏やかな暮らしの場となるよう、職員は利用者の思いや人格を尊重した言葉かけや対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者には、飲みたいものを選んでもらい、本人の希望にこたえます。常に声掛けを心掛け、納得いくよう表情やうなずきなど見逃さず希望に応じた対応に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人のペースに合わせ、昼寝をしたり、本を読んだり、テレビを観たり、俳句を作ったり、散歩をしたりする等、一日をその人らしく過ごせるようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人が好みの衣類を選び、着用している方もいます。理容師が訪問して来ており、本人希望の髪型を伝えています。「わくわくオシャレデー」と名付けて職員一人が美容講習会を開き、お化粧を楽しんでいます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の食事の好み、例えばそばの食べれない人はうどんに変えたり、食事介助の人には一口時間をかけ味わって食べてもらっています。咀嚼・嚥下力の低下を防ぐための研修も昨年受けました。	その日の献立を目につく場所に表示し、食事が待ち遠しくなるような雰囲気をつくっている。また、お正月には「お節料理にお屠蘇」、秋には「紅葉御膳」など、季節ごとに目先を変えた献立を工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は栄養バランスやカロリーを考えて栄養科から配食されます。その中で好みや状態、習慣に応じた対応をしています。パンの嫌いな方はご飯、ご飯が残ってしまう方にはふりかけをかける等の支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの支援をしています。現在は自分でできる方は5名、この方達にも声掛け、見守り、ポリデントの管理を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄パターン、習慣を職員が共通認識しております。毎日の記録、前日の状態を把握しトイレ誘導を行っています。水分摂取や日中の活動を増やすことでも、おむつに頼らないよう支援しています。	一人ひとりの利用者に合わせて、使用するパット類を工夫したり、時間を見て、さり気なくトイレへ誘うなど、排泄の自立につながるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘が心身に与える影響を全職員が理解しています。起床時や日中の水分摂取、乳製品や果物を摂る。運動や腹部マッサージをすることを個々に応じて行っています。そして下剤を減らすよう努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決めています、利用者の体調や希望、気分に合わせて入浴日の変更を自由に行っています。強く入浴を拒む方に職員は、日頃からの関わり方を見直し、信頼関係を築き、気分良く入浴できるよう工夫、配慮しています。	自分のペースでゆっくりと入浴したり、職員に背中を洗ってもらい「さっぱりした」と満足気に話すなど、一人ひとりの好みや体調に配慮した入浴支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者は昼寝をすることができ、起床や就寝の時間を決めていません。本人のその日の気分や体調に合わせて、安心して気持ちよく眠れるようこれまでの生活習慣を理解し支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の既往歴を把握し薬の目的、副作用を理解しています。誤薬を防ぐ為、日付、名称を二人で確認し、飲み込むまで見守ります。薬の処方について常に体調や症状を観察し、職員で情報を共用し、また看護師に報告しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に合わせ、洗濯物たたみ、茶碗拭きなど役割を持てるよう支援しています。お茶の心得のある方は快く皆にお茶を立ててくださいます。興味ある雑誌を提供し楽しめるよう心掛けています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段から玄関は施錠せず日常的に外に出掛けられるようにしています。散歩は利用者の思いに合わせ対応しています。今年も安全、天候を確認し花見やアート作品展の鑑賞に出掛けています。町内の納涼祭にも参加し、地域の方との交流を図りました。	日頃から、玄関を出てベンチに腰掛け、趣のある八尾の街並みを眺めたり、通りを歩き来する近所の人達と雑談したりしている。また、正月には近くの諏訪神社に初詣、春には聞名寺のしだれ桜を見物し、夏には地区の納涼祭に出かけるなど、四季折々の外出支援に取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の了解を得て入居者の金銭を事業所で管理しています。利用者が希望される物を家族の了承を得て買い物に出かけ、利用者の満足を得られるよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望されれば、利用者はいつでも家族と連絡をとることができます。ボランティアさんの協力もあり家族へ年賀状を送ることもできました。家族さんからの年賀状も嬉しそうに見られました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物は町中にあり、リビングの大きな障子戸からは日がいつでも差し込んで明るい空間となっています。季節ごとの花を飾り、廊下の突当りからは、山や川が眺められます。室温は季節ごと入居者に合わせ、暮らしやすいよう支援しています。	玄関やリビングには、お花を欠かさず飾り、季節の移り変わりを感じてもらっている。また、流しそうめんや節分のときの楽しげな様子の写真を飾るなど、和やかな雰囲気の共用空間をつくっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その時々、入居者の体調や思いを汲み取って、気の合う方同士いてもらったり、独り静かにできる空間を作ったりするなどの工夫をしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所での生活も、これまでの生活の延長と考え可能な限り使い慣れた家具や愛着ある品物、写真などを部屋に置いてもらい本人が望む、空間作りをして頂いています。	使い慣れた鏡台の前で髪をとかしたり、持参したアルバムをめくって思い出に浸るなど、馴染みのものや大事にしていたものを活かして、居心地よく過ごせる居室づくりに努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はバリアフリーであり、手摺が各場所に設置されています。居室やトイレの案内表示は目に留めやすいように手書きし、目線に合わせた高さに設置しています。		

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームおわら  
作成日 平成28年 3月 7日

【目標達成計画】

優先順	項目番	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「ゆっくり 楽しく 和やかに」の法人理念に加え ①医療連携の強化、②看取りの充実、③個人の尊重、④地域交流の推進、⑤サービスの向上、の5項目をもとにケアの実践につなげていますが、事業所独自の理念は有りません。	平成28年度の事業所独自の目標を「グループホームおわらにかかわる全ての人々と穏やかで優しい関係を作る」とする。	今年度は挨拶にポイントを置く「入居者、ご家族、職員、来訪者全ての方々と目を見て笑顔で挨拶をする」。	3ヶ月
2	2	地域とのつきあいの機会を増やしたい	戸外で行う行事に近隣住民の参加を企画する。	夏に実施している「花火大会」会場へ近隣の子供たちの参加を勧める。	6ヶ月
3	13	当事業所の避難訓練時に近隣の人達の参加が減少している。	開催案内に役割分担を明示する。	開催案内に役割分担として玄関先避難所での入居者の見守り役を明示する。	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。